

特定非営利活動法人 やっぺす  
活動報告書 2022



2023年8月15日発行

発行：特定非営利活動法人やっぺす（前：石巻復興支援ネットワーク）  
〒986-0806 宮城県石巻市開北3丁目1-8  
Tel:0225-23-8588 Fax:050-3155-4313 Mail:info@yappesu.jp  
HP:<http://yappesu.jp>  
FB: <https://www.facebook.com/yappesu>  
Twitter:@yappesu  
Instagram : npo\_yappesu

# 代表あいさつ



共同代表理事 柏原としこ

皆さま、日頃よりわたくしたちやっぺすの活動を応援していただき、誠にありがとうございます。団体名が「やっぺす」となり、新体制となってから初めての1年間を無事過ごすことが出来ました。これまで多大なるご支援・ご協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

2022年度は、数年来続く「新型コロナ感染症の流行」という、誰もが不安を抱え、困惑している状況にも関わらず、だからこそ見えてきた、感じてきた「なんとかしなきゃ！」を、地域の方たちそれぞれの得意分野やできることで、いっしょに解決にむけて考えることができた1年でもありました。

チャリティ絵画展や、収穫祭・やっぺすバザーなどのイベント時や、子ども食堂・パントリー等の事業では、「誰かの役に立てるなら！」「地域の子どもたちのために！」などの励ましの声とご協力を地域の方からいただきました。

スクール事業では、受講生たちがそこで学びやつながりを活かし、更に学びを深める方、地域の活性化やコミュニティづくりのため、団体やイベントを立ち上げた方、様々なボランティア活動に参加する方等などの姿を多く見ることができました。

「“わたしらしく生きる”が叶えられるまちづくり」は、特別な誰かに頼るものなのではなく、

地域に住まう誰もが関わるからこそ叶えられるもの。これこそが、まさに「やっぺす！！（=みんなでやりましょう！）」などだと実感しております。

今後もスタッフ一同、地域の皆様と共に未来を創り上げていくため、邁進してまいります。

引き続き、ご指導とご鞭撻をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。



共同代表理事 高橋 洋祐

「やっぺす=一緒にやりましょう」という合言葉を掲げ、数多くの皆様との出会いや支えに恵まれ、第12期を無事に迎えることができました。心から感謝申し上げます。

女性人材育成セミナーでは、受講生が講師として活躍し、復興住宅を中心としたコミュニティ形成支援では、住民主体のサークル活動への移行など、地域に良い循環や変化が生まれていることを実感しています。

しかし、昨今の社会情勢の影響か、当団体への相談件数は急増しており、特に女性や居住支援に関する相談は前年比で2倍以上に増えました。生活困窮やDV、虐待などによる住まいや居場所の支援等の切実なニーズが日々増えています。

「家に帰れない」

「暴力から逃げてきて、車で生活している」

「出産が近いけど、安定した住まいがない」

「周りに頼れる人がいない」

「ガスが止まってお風呂に入れない」

これらはテレビやYouTubeの話ではありません。私たちが実際に住んでいるこの地域で出会った方々の声です。

これらの課題に対応するため、私たちは活動を展開し、相談を受けるだけでなく、住まいの確保や各種手続きの同行、急な引っ越しの手伝いなども行っています。既存の制度やサービスでは支援が不十分な方々に対して、私たちが伴走することでセーフティネットの役割を果たせばと考えています。

先代から受け継いだ「誰もが笑顔で暮らすことのできる温もりと活気のある優しさに溢れたまち」この言葉の体現に向けて、試行錯誤を繰り返す日々ですが、私たちの活動は、地域の皆様うあ企業様、そして皆様の支えがあって成り立っており、この支え合いの輪を広げていくことも、私たちの役割であると考えています。

地域の未来や大切な人、大切な子どもたちが生きる未来を「誰か」に任せるのではなく、地域の皆様と創り上げるため、スタッフ一同、努力し続けてまいります。

最後に、これまで多大なるご支援・ご協力を賜りました皆様に心から感謝申し上げます。引き続き、ご指導とご鞭撻をいただけますよう、心からお願い申し上げます。

# やっぺすとは

やっぺす(前：石巻復興支援ネットワーク)は、団体創設者の兼子佳恵が子育てに悩んだ経験から、2009年にお母さん仲間とともに立ち上げた「環境と子供を考える会」を母体に、2011年3月の東日本震災後に支援に入った「つなプロ(被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト)」の協力のもと立ち上げ、同年12月に法人化した団体です。

復興支援をメインに活動して参りましたやっぺすですが、現在は市民ひとりひとりが支え合い、課題を乗り越えていく社会基盤をつくるため、多様な担い手に学びや活躍する機会の提供と支援が必要な方への多岐にわたるサポートを行っています。

やっぺすは石巻地域の方、企業やNPO、行政等と協働し、そして本報告書をお手に取っていただいているあなたといっしょに、「やっぺす！」（一緒にやりましょう！）と声を掛け合いながらこれからもいっしょに歩んで参ります。

# やっぺす年表

## 2011年

- ・NPO法人石巻復興支援ネットワーク設立、認定取得。
- ・復興コーディネート事業を主に活動を開始。

## 2012年

- ・平成24年度東北みらい創りサマースクール実行委員会主催『第1回東北みらい賞』受賞。

## 2014年

- ・教訓を伝え、親子で防災を考えるリュック無事かえるリュックが『第8回キッズデザイン賞』受賞。
- ・平成27年度日本トルコ文化交流会主催『日本復興の光大賞15』受賞。

## 2016年

- ・2011年の活動開始から約6年間拠点としてきた石巻駅前ビル4階から石巻市元倉1丁目事務所を移転。

## 2018年

- ・活動拠点を石巻市開北3丁目へ移転。
- ・平成29年度総務省主催『ふるさとづくり大賞 内閣総理大臣賞』受賞。総理官邸にて表彰(2018年3月)。
- ・平成30年度経産省主催『女性起業家支援コンテスト2018』個別支援部門優秀賞を受賞。

## 2019年

- ・令和元年度内閣府「女性のチャレンジ賞」女性のチャレンジ支援賞を受賞。
- ・令和元年度復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰を受賞。

## 2020年

- ・MDRT Foundation-Japan 2020QOLGIに選定。

## 2021年

- ・「新たな住宅セーフティネット制度」に基づき、宮城県内で第12号の「居住支援法人」に指定。
- ・一般財団法人 非営利組織評価センター(JCNE)の評価を受け、ベーシックガバナンスチェックリストの掲載団体として認証。

## 2022年

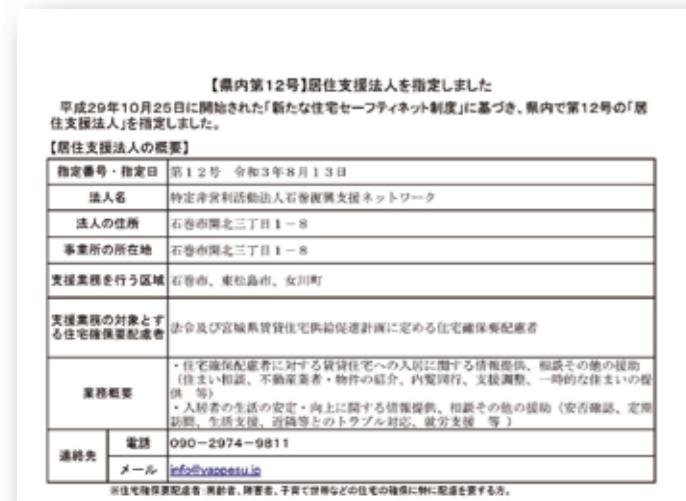
- ・団体名を「NPO法人やっぺす」に変更。
- ・一般財団法人 非営利組織評価センター(JCNE)の評価を受け グッドガバナンス認証を取得。
- ・MDRT Foundation-Japan 2022QOLGIに選定。

# もくじ

代表あいさつ	p01
やっべすとは	p02
やっべすトピックス	p05
やっべすの活動	
相談支援事業	
みやぎの女性つながりサポート型支援事業	p07
女性による女性のための相談窓口～こころぴーす相談窓口～	
居住支援事業	p07
やっべすハウス＆パントリー事業	p08
子育て支援	
石巻市子ども・子育て利用者支援等事業業務	p09
ママこども食堂	p09
石巻市産後ケア事業 ～HappyBirthdayMama～	p10
女性活躍推進	
石巻発アクセサリーブランド～Amanecer～	p11
おうち仕事	p11
人材育成スクール	p12
復興支援	
復興住宅 心の復興事業	p13
石巻復興コーディネート事業	p13
グッズ販売事業	p14
会計報告	
ご支援・ご協力頂いた企業・団体の皆様	p16
ご支援のお願い	p17



# やっぺすトピックス



## ①居住支援事業を開始！

住宅確保要配慮者の状況を踏まえて必要な支援を検討し、住宅確保要配慮者の住まいの確保や入居後の支援などを行っています。(詳細は p07)



## ④コミュニティ形成は住民主体のサークル化へ！

団体設立から続けている復興住宅（仮設住宅）のコミュニティ支援ですが、復興のその先を見据えて団体も、市民も本年度大きく一步踏み出しました。(詳細は p13)



## ②パントリー事業を開始！

やっぺすでは、相談内容の多様化に伴い、パントリー事業をさらに拡充し、対応いたしました。(詳細は p09)



## ⑤募金活動を行いました！

社会福祉法人 宮城県共同募金会様の社会課題解決「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業にて、①子ども達への学習支援31回、延べ34人②養育者の生活相談37回③自活へ向けた家事、掃除等の生活改善サポート29回を行うことができました。



## ③やっぺすささえあいバザー &縁日を行いました！

地域に根差す団体として、広く市民に活動を知ってもらうことを目的として開催しております。また、得た収益は生活困窮家庭への支援や子ども食堂の運営費などに充てています。



# やっぺすの活動 相談支援事業



## みやぎの女性つながりサポート型支援事業/ 女性による女性のための相談窓口「こころぴーす相談窓口」

### 事業概要

わたしたちは、2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響をはじめ様々な要因から起きる、経済的困窮や、孤独・孤立で不安を抱え精神的に困窮している女性の心理面に寄り添った相談支援に加えて、地域女性の実情に合わせた同行支援や生理用品の提供、自立支援や就業支援との連携など、社会参画にむけたきめ細やかな支援を行ってまいります。

### 今期の成果

■実施期間：2022年5月2日～2月28日

■対象地域：石巻地域

- ・相談窓口「こころぴーす」の設置
- ・公認心理士・コーチング・レジリエンスコンサルタント・メンタルヘルスマネジメント資格者による対面および電話相談、出張相談会を実施
- 相談員対応件数：386件（アウトリーチ・同行支援含む）
- 女性による女性のための相談窓口「こころぴーす相談窓口」を昨年に引き続き設置、運営した。

### 地域に与えた影響

■相談窓口、電話相談を行うことで始めは毎日相談に来ていた方が週一回、月に一回と相談回数が減り、こころの安定に繋がっている。



## 居住支援事業

### 事業概要

コロナ禍で地域住民からやっぺすに寄せられる相談も急増しており、生活困窮、DV、虐待、離婚問題等から居場所を失ってしまった方の相談が増えています。それを受け、やっぺすは2021年8月に居住支援法人として宮城県の指定を受け活動を開始しました。

石巻市・東松島市・女川町を中心に、住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを養育する者、その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の住まいの確保、生活支援、相談、孤立孤独を防ぐため見守り等を行い、誰もが笑顔で暮らすことのできるまちを目指し、困難を抱えた地域住民のサポートに力を入れています。

### 今期の成果

- 相談件数 331件
- 居住の確保(民間賃貸等) 23件

### 地域に与えた影響

■相談窓口、電話相談を行うことで始めは毎日相談に来ていた方が週一回、月に一回と相談回数が減り、こころの安定に繋がっている。



## やっぺすハウス＆パントリー事業

### 事業概要

新型コロナの影響により、これまで潜在的だった問題が表面化し、当団体に寄せられる生活困窮や虐待等の相談件数は年を追うごとに増加しております。また、DV被害による避難や離婚などによって住居を失った相談者は、居住所が定まらないと生活保護受給や就職、さらに子どもが義務教育期間中は学区を決めることもできません。

そのため、やっぺすでは2020年12月より、「一時的な避難所」としての役割だけではなく「居住所」として登録可能なハウス「やっぺすハウス」の運営を開始いたしました。

また、前述と合わせ、経済的困窮等により十分な食事が摂れていない方や、学用品や生活用品が揃えられることが困難となっている家庭を対象に、食糧や生活用品等の提供を行い、女性や子どもの心身の健康といち早い生活の立て直しのサポート行っております。

### 今期の成果

- パントリー設置（通年）  
パントリー利用世帯数 224世帯(のべ723名)
- やっぺすハウスの設置運営  
(ハウス3棟中2棟は通年、1棟は4/1～11/30まで設置)  
ハウス入居世帯数 のべ28世帯(のべ1640名)  
(稼働率入居日数/設置期間の日数)85.4%

### 地域に与えた影響

■パントリー設置の事業所として認知度があがり、企業や団体、地域の方たちからも食材や生活用品、衣料品等の寄贈される機会や、利用についての問合せが増加し、より多くの必要とされる方へ届けられた。

■やっぺすハウスを継続して実施することで、支援者が、DV被害や生活困窮等で居場所や住まいを失った女性や子育て世帯の相談者をつなぐ先として認知が進んだ。その結果、それらの困難な状況にある方たちの生活再建をする体制を整える場所(地域資源)として確立しつつある。

# やっぺすの活動 子育て支援



## 石巻市子ども・子育て利用者支援等事業業務

### 事業概要

本事業は石巻市より業務委託を受け、2020年7月1日に石巻市ささえいセンター内に「石巻市子育て世代包括支援センターいっしょいっしょえきまえ」を開館しました。3年目である本年は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、人数・時間制限、消毒の徹底を行なながら、継続して運営を行いました。

当施設は、妊産婦相談含む相談支援や情報提供、子育てに関する講座を行うとともに、関係機関との顔の見える連絡調整を実施し、子育てに関する不安や悩みを持つ方の精神的負担の軽減を図ることを目的として事業展開しております。

また、合わせて遊びのスペースもございます。大型の遊具や、ボールプール、知育玩具や多くの絵本が設置されており、ご来館して頂いた方の多くが継続して利用しております。

市内に居住する0歳～18歳未満のこども、子育て中のママ・パパ・祖父母の方(妊娠されている方も含む)ならどなたでも無料でご利用いただけます。

### 今期の成果

#### 【利用者支援事業】

■子育て等に関する相談件数 395件

■アウトリーチ(イオンスーパーセンター石巻東店様でのお話会)12回開催 総来場者数135名

#### 【地域子育て拠点事業】

■子育て及び子育て支援に関する講座開催32回 90名

■遊びの広場 総来館者数4561名(大人：1993名/子ども：2568名)

■広報：本事業の講座に関する新規発行物5件

#### 【助産師による産前産後「心とからだのトータルケア推進事業】

■助産師が行う妊産婦相談件数45件 122名

■助産師が行う妊産婦講座開催31回 160名

■広報：本事業に関する新規発行物2件

### 地域に与えた影響

■3年目を迎える本年は悩みや不安を持つ方を取りこぼすことのないように、新たな取り組みとして、イオンスーパーセンター石巻東店様ご協力のもと、店舗の一角をお借りし、お話会(相談会)を開催し、地域資源として位置付けた。

その結果、子育てに関する相談件数は前年度比約+150名となった。



## ママこども食堂

### 事業概要

東日本大震災以降、加速している少子高齢化や核家族化により、子育て世帯は孤立化しやすく、さらには昨今の新型コロナウイルス感染症流行の影響による経済的・精神的困窮や、感染症対策による家事育児の負担の増加、外出制限等で、親子ともにストレスを抱えやすい状況が続いております。

この問題解決にむけ、時間と人数制限を設けながら、親子が気軽に相談できる機会や、安心して遊べる空間、お弁当・会食での食事の提供を行いました。

また、石巻圏域及び宮城圏域のこども食堂連絡会議に参加し、子ども食堂を通した地域課題や情報の共有を行い、よりよい子育て環境づくりを目指し、模索しながら事業を進めております。

### 今期の成果

■やっぺすママ子ども食堂＆子育て相談会 開催総回数：72回

総参加人数 407名(大人：174名/子ども：233名)

■やっぺすママ子ども食堂(会食形式) 開催想回数：25回

総参加人数 402名(大人：181名/子ども：221名)

■子ども食堂＆学習会 開催総回数：7回

総参加人数 65名(大人：16名/子ども：49名)

■子ども食堂の開催に合わせ、ミニライブやハミガキワークショップ、芋ほり体験、親子料理教室、防災ワークショップ、運動療育体験会等を同時開催(全10回)

■石巻圏域こども食堂連絡会議(毎月第2月曜)への参加

■みやざ子ども食堂ネットワーク会議幹事会への参加

■子ども食堂新規立ち上げに関する相談対応(2件)

### 地域に与えた影響

■こども食堂の参加から、家の負担が行政や弊団体の講座受講に繋がり、母親のエンパワーメントに発展した。

■遊び場が少ない地域の現状において、親子で安心して全身を使って伸び伸びと遊べる環境を提供でき、コロナ禍のストレス緩和につながった。

■様々な体験を取り入れたことで、幼児期に多くの経験ができる事業として地域に浸透した。

■こども食堂やパンツリー設置の活動が地域に浸透し、関心が高まったことで企業、団体、個人からの寄付や物資をご支援いただくことが増えた。

■行政や地域の相談窓口との関係が構築され、意見交換の場や、ケース会議などの機会も増え、地域のこども達を見守るネットワークが強化された。

■子ども食堂の新規立ち上げについての相談を受け、子ども食堂ネットワークや食糧支援先に繋ぐなどのサポートを行い、周辺地域に子ども食堂が2件増加した。



## 石巻市産後ケア事業 ～HappyBirthdayMama～

### 事業概要

本事業は石巻市からの委託事業で、産後間もない時期の母親の身体的回復や心理的安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるように支援を行う事業です。地域の助産師などが中心となり事業を実施しております。

### 今期の成果

■産後ケア開催総回数 23回

総参加組数 45組

総参加人数 90名 (大人：45名/子ども：45名)

■前年度比 22組増

■産後ケアを受けた利用者に、行政が提供するサービスや、地域の子ども食堂の案内など子育てに必要な情報を届けることで、地域のおいて切れ目ない支援や見守りに繋げることができた。

### 地域に与えた影響

■地域の産後間もない母親が自分でも気づかない身体的・精神的疲れやストレスを公認心理士や、助産師とゆっくり話することで、しっかりと気づき、自分自身できちんとセルフケアをすること促すことができた。

また、事業評価として、産後ケアを利用した方全てにアンケートを取ったところ、満足したという回答が100%であった。

# やっぺすの活動 女性活躍推進



## 石巻発アクセサリーブランド ～Amanecer～

### 事業概要

Amanecer(アマネセール)は、ママと社会をつなぐアクセサリーブランドです。

母親たちが、子どもが居ながらにして収入を得る機会や、閉じこもった生活から一步外へ出られるような場を提供することを目的に、ハンドメイドアクセサリーを作成・販売しています。

アクセサリーをネットショップで販売、運営し、アクセサリー制作工賃を母親たちへ支払っております。アクセサリー制作をする為のスキルアップ作業会を実施し、母親たちのコミュニケーションの場になっております。

また、アクセサリーブランド名Amanecerとは、スペイン語で"夜明け"という意味です。

### 今期の成果

■ 制作者雇用数：1名

■ 新規の商品を発売することが出来た。

### 地域に与えた影響

■ 制作者が考案したデザインで新作アクセサリーを販売した。



## おうち仕事

### 事業概要

当事業は復興支援を希望する東京、大阪などの企業と共同で、子育て中の女性向けの手仕事を中心とした内職を提供しています。小さな子どもが居る母親は、自分のペースで働ける場所が少なく、就労していないため保育園に預けることができません。内職をすることで、就労証明書を届け出ることができます。スムーズに就労へつながることや、社会とつながる機会になっております。

2022年度は（一社）rennasa(アズボヌール)、（株）ナカジマコーポレーションから前年度より引き続き委託を受け、手仕事を通したコミュニケーションの場にもなっております。

### 今期の成果

■ （一社）rennasa アズボヌールレザーアクセサリー

リング、ピアス、ネックレス、ブレスレット制作

■ （株）ナカジマコーポレーション

大阪イベント用ノベルティグッズ制作

■ アズボヌール新作レクチャーをオンラインにて実施

### 地域に与えた影響

■ 延べ6名へ内職を依頼し作業工賃として、収入を得る機会を提供できた。



## 女性人材育成スクール

### 事業概要

石巻市・東松島市委託事業のスクールでは、コミュニケーション、キャリアデザイン、リーダーシップ、メンタルヘルスやレジリエンスなど。宮城県の助成事業として実施したスクールでは、地域のことを知る講座や、心が元気になるワークで学び、受講生みんなで講座の企画実行にチャレンジする機会を提供する連続講座を開催しました。

また、いずれのスクールも、子育て中の女性も参加しやすいように、無料もしくは安価で利用できる託児サービスを提供しております。

### 今期の成果

■ 【東松島市女性人材発掘・育成セミナー"ひがまつヴィーナス"】

開催期間：2022年6月～2022年7月

実施回数および人数：3回 参加者のべ36名

■ 【石巻市女性人材育成スクール"いしのまきジェンヌ"】

開催期間：2022年10月～2022年11月

実施回数および人数：平日3回・休日3回 計6回 参加者のべ103名

■ 【地域女性がつながり・まなび・ともにつくるスクール事業「STEP♪」（宮城県助成事業）】

開催期間：2022年9月～2023年3月

実施回数および人数：水曜5回+受講生企画講座1回 参加者のべ59名

土曜5回+受講生企画講座1回 参加者のべ120名

特別企画講座および補講等3回 参加者のべ41名

### 地域に与えた影響

■ 石巻市女性人材育成セミナーでは、前年度の受講生が講師となり活躍した。

■ 講座に参加したことを機に、受講生自らが

- ・自分のスキルを活かして地域の子育て中の女性を対象とした講座開催した。

- ・地域活性化にむけたイベントを定期的に開催するようになった。

- ・地域のコミュニティづくりを目的とした団体を立ち上げ、活動をスタートさせた。

など、受講生が次の人たちの後押しをする立場となるなどの循環が生まれ続けている。

# やっぺすの活動 復興支援



## 復興住宅 心の復興事業

### 事業概要

石巻市内の復興公営住宅集会所にて、コミュニティ形成、住民の生きがい創出と自信の回復の為に月6-7回程度サロン活動を行いました。コロナウイルスによる自粛で、心身の健康被害の軽減にも力を入れた活動となりました。自宅再建による孤独を軽減するため、地域や復興住宅という壁をこえて交流する収穫祭や遠足も、時期を調整し計画、コロナ感染防止対策を取りながら実施しました。グラウンドゴルフも各地域から参加、男性の参加者が増えてあります。また、外部からのニーズと住民のニーズをマッチングしたイベントの企画・運営にはオンラインを使用するなどできる限りのイベントの開催に努めました。自粛期間の運動としてやっぺすヨガ教室をDVDで配布しました。

### 今期の成果

- バス遠足6回実施 参加人数延べ人数 263名
- 住民による遠足の企画会議7回実施 参加人数延べ人数 86名
- 復興支援イベント68回実施 参加人数延べ人数 971名
- その他市民支援活動44回実施 参加人数延べ人数 42名
- 県外の被災地コミュニティの視察1回実施（陸前高田、気仙沼） 参加人数延べ人数6名
- 傾聴によるこころのケア 総件数187件
- 石巻市生涯学習課「まなび舎」に「紙ひもでかご作り講座」掲載
- 石巻市生涯学習課「まなび舎」に「コミュニティパン教室」掲載

### 地域に与えた影響

- 石巻市内（蛇田、あゆみ野、のぞみ野、河南、二子、渡波、美園、日和が丘、湊、南境、あけぼの北、中里、河北、大橋、門脇、稻井、大街道、水明、向陽地区）の多地域の方々が住まいや地区を超えて参加していただき、市民交流の場となった。
- 遠足実施後、参加者同士がコミュニケーションを取り、弊団体や他団体のサロン活動やイベントに参加する市民が増加し、外出機会の提供、地域交流の活性化に繋がった。
- 弊団体の行うサロン活動の新規参加者も増え、閉じこもりがちな高齢の住民の外出機会の創出、生きがいづくりにも繋がり、孤立や孤独死防止に繋がった。
- 今回のバスツアーの開催を通して、ニーズが高く、自発的に参加を望まれる行事等を開催することでより活発な交流の場作りや、コミュニティの醸成が期待できることが明確になった。
- これまでサロン活動をサポートしてきたが、支援する中で、終了を迎えたとしても、継続して行うことができるようシステム化の提案を行ったことで(例：運営を行う際のリーダーの選出、参加費制から月謝制への変更等)住民主体の形でリーダー(各活動をまとめる地域住民の方)へバトンを渡すことができた。伴走的な支援を行ってきただけで、住民に気持ちの変化(必要と感じることが生まれ、受益者の立場から提供する側へステップを踏み出し、住民が相互に支援ができる関係が作られた。

## 復興コーディネート事業

### 事業概要

現地のニーズと組み合わせながら、企業・大学・各団体の支援活動や社員研修、視察、スタディツアーコーディネートを行っています。復興公営住宅でのコミュニティ形成支援、人口が減った地域での生業支援等、まだ支援を必要としている方々を支えるとともに、震災の風化を防ぎ、いつどこで起きるともわからない災害に対して、参加者の防災・減災意識を高める効果も期待しています。また「復興の過程」や「防災学習」、「女性の活躍促進」等をテーマに、代表理事等による講演活動やワークショップの実施にも力を入れてあり、被災地の現状を伝えたり、復興まちづくりにおける女性の役割やリーダーシップについて、お話ししています。

### 今期の成果

- 復興支援活動&視察等の実績
  - ・三越伊勢丹(5月)
  - ・JICAノンフォーマル教育(12月)
- 講演・セミナー・パネラー登壇、研修受け入れ等
  - みやぎの女性活躍ネットワーク事業～男女共同参画の視点を交えて「交流分析」を学ぼう！～(10月)
  - 石巻西高等学校 街ライブラリー(10月)、街ミッション(12月)
  - 東北PMセミナー2022「ニューノーマルな時代への変革」(11月)
  - MDRT日本会バーチャルボランティア「東北を忘れない日」(2月)
  - 『ソーシャルビジネスで生きがいづくりの社会へ～制度に頼らないエンパワーメント～』－【仙台あぱいんプロジェクト】(3月)
- 企業協働事業
  - ・カゴメ株式会社 （復興住宅のコミュニティ支援事業・ママこども事業への協力）トマト苗寄贈(5月)
  - ベジタブルチェッカー(7・1月)
  - カゴメ健康教室(7月)
  - 頂いた苗から育てたトマトを使用したパン教室(8月)

### 地域に与えた影響

- 東日本大震災からの活動を通じて、市外県外にアウトプットする機会を持つことで、時間が経過した現在も市外県外から関心を持てていただき、支援や関係性を持ち続けることができることに寄与することができた。
- 石巻圏域での企業やボランティア活動の受け皿として、ニーズを持つ石巻圏のNPOや市民活動とマッチングできるハブとして機能した。

## グッズ販売事業

### 事業概要

無事かえるシリーズとは、ぬいぐるみの製造、販売等を手がける株式会社ナカジマコーポレーションのオリジナルキャラクター「かえるのピクルス」の誕生20年を記念して、弊団体の協力、監修により作成した防災リュック「無事かえるリュック」を始まりに製作・提供を続ける防災商品です。2022年度は、新作のビーンドールマスクと、ビーンドール用ミニリュック、既存製品のフェイスバッグ、指人表、フラットポーチ、ホイッスルを販売しております。

自社販売サイトから全国のみなさまへお届けしております。

### 今期の成果

- 売上：¥77,458
- ECサイトによる無事かえるシリーズを販売、発送した。

### 地域に与えた影響

日常に取り入れやすいデザインで、普段の生活に使用する方が増え、身構えことなく防災への意識が向上した。

# 会計報告

財産目録		
活動計算書		
特定非営利活動法人やっべす 会計期間 令和3年3月31日現在		
資産の部		
負債の部		
貸借対照表		
特定非営利活動法人やっべす 会計期間 令和3年3月31日現在		

# ご支援・ご協力頂いた企業・団体の皆様

石巻の企業やNPO等は数が多いので、ここでは外部の方々を中心に一部をご紹介します。順不同です。

## 民間企業

- ・(株)ナカジマコーポレーション
- ・(株)マルタマ
- ・(株)イストワール
- ・(株)日本政策金融公庫
- ・(株)日清製粉グループ本社
- ・(株)ミチノク
- ・(株)ヴィ・フィールド
- ・(株)Histoire
- ・(株)セキリョウ
- ・日本ロレアル(株)
- ・カゴメ(株)
- ・みやぎ生活協同組合
- ・三越伊勢丹グループ労働組合
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ
- ・コーチング研修会社ドリームフィールド
- ・(株)さくら不動産
- ・齊藤不動産管理事務所
- ・服部制作室
- ・日野税理士事務所
- ・(株)ほるぷエーアンドアイ
- ・(株)高速
- ・(有)大土運輸
- ・(有)エムワイフーズ
- ・(株)アルト
- ・(株)鈴久商店リサイクル
- ・JOY PARK 渥店
- ・JOY PARK 石巻店
- ・拓健技研 株式会社
- ・JAいしのまき 宮農センター
- ・JAいしのまき 稲井支店
- ・JAいしのまき 本店
- ・協立塗料(株)
- ・スナックJ's

## 民間団体

- ・フィッシュ・ファミリー財団
- ・SWC あいの実
- ・カゴメみらいやさい財団
- ・ヘルピングハンズフォ東北
- ・(特活)全国女性会館協議会
- ・(一社)全国食支援活動協力会
- ・(特活)ふうどばんく東北 AGAIN
- ・(特活)むすびえ
- ・(一社)東松島みらいとし機構
- ・米日財団
- ・キューピーみらいたまご財団
- ・(公財)JKA
- ・(独)福祉医療機構
- ・(公財)パブリックリソース財団
- ・(一社)MDRT 日本会
- ・(一社)ギビングフォーワード
- ・(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会
- ・(特活)子ども家庭リソースセンター
- ・(一財)ダイバーシティ研究所
- ・(一財)非営利組織評価センター
- ・(特活)日本NPOセンター
- ・(特活)日本サービスマナー協会
- ・(公財)日本財団
- ・(特活)日本トルコ文化交流協会
- ・(公社)日本フィランソロピー協会
- ・(一社)兵庫県音楽療法士会
- ・(特活)ブレーンヒューマニティー
- ・(一社)まちとアート研究所
- ・(一社)みやぎ連携復興センター
- ・(特活)杜の伝言板ゆるる
- ・(公社)Civic Force
- ・(福)宮城県共同募金会
- ・(福)石巻市社会福祉協議会
- ・法然院
- ・西光寺
- ・洞源院

## 行政 / 自治体

- ・復興庁
- ・内閣府
- ・国土交通省
- ・厚生労働省
- ・総務省
- ・経産省
- ・宮城県
- ・石巻市
- ・東松島市
- ・女川町
- ・多賀城市

## 教育機関

- ・中央大学
- ・同志社女子大学
- ・宮城学院女子大学
- ・兵庫県立篠山東雲高等学校
- ・藤女子中学校・高等学校
- ・国連ユニタール広島事務所

## Special Thanks

- ・やっべすな仲間達
- ・賛助会員の皆様

# ご支援のお願い



日頃より、やっべすの活動をご支援いただき誠にありがとうございます。

やっべすでは活動のご支援を募っております。

2011年の東日本大震災を機に「地域の復興をみんなでやっべす！（やりましょう！）」という想いを込め活動を開始したやっべすは、仮設住宅や公営住宅のコミュニティ支援や、仕事づくり、創業・起業支援、人材育成、女性のエンパワーメントなど、地域の課題解決に向け住民の皆様、応援くださる皆様と共に歩んでまいりました。

震災から10年以上が経過した現在、新型コロナウイルス感染症の流行等によってより顕在化した、『貧困』の問題、パートナーからの『DV』、子どもや高齢者に対する『虐待』等の深刻な課題が、地域の脅威となっていることが、活動を通して見えてきております。

これらの課題に対して、やっべすは相談支援、居住支援、一時避難場所（シェルター）の提供、食材支援等のパンツリー事業等を行っておりますが、支援や事業の継続を考えたとき、私たち団体だけの力では限界がございます。

そのため、やっべすの活動にご賛同いただける皆様に、次頁にて応援プランのご案内をしております。お気持ちにあったご支援の方法をお選びください。

みなさまからお預かりしたご寄付は、活動資金としてたいせつに活用させていただきます。

# 本年度の寄付金の使い道

- ・困窮家庭に対し、食料並びに生活用品の支援
- ・母子の一時避難場所の運営資金（賃借料、水道光熱費、消耗品費）
- ・母子の一時避難場所の相談員の人件費
- ・こども食堂の運営費（食材、イベント開催時の謝金並びに人件費（ボランティア謝金））
- ・その他、団体の活動費

# 応援プランについて

## ご寄付について



### マンスリー・サポーター

- ・個人：3,000円／月
- ・企業・団体：50,000～円／月

### 継続的に支援

### 単発的に支援

### サポーター

- ・任意の金額でご支援いただけます。

## 寄付によって達成できること



## ご寄付以外でも応援ができます！

### 食料を届ける！

固定電話  
(0225-23-8588)  
or  
メールでお問い合わせ  
<info@yappesu.jp>

### ボランティアで関わる！

ボランティア登録フォームへ



### いいねで応援！

インスタ  
FaceBookへ



### ＜他行からお振り込み＞

金融機関：ゆうちょ銀行 八一八支店  
口座：普通口座 2420166  
口座名称：特非)やっべす  
フリガナ：トクヒ)ヤッペス

### ＜ゆうちょ銀行からお振り込み＞

金融機関：ゆうちょ銀行 18140  
口座：総合口座 24201661  
口座名称：特非)やっべす  
フリガナ：トクヒ)ヤッペス